資料５（長崎若者サポートステーション）

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況

取組年度	令和３年度
支援対象者	（２）長期にわたり無業の状態にある方
目　標	就業を希望しながら、様々な事情により求職活動をしていない長期無業の状態にある方については、働くことや社会参加を促す中で本人に合った形で支援を行う必要があることから、地域若者サポートステーション（以下「サポステ」という。）を中心に関係機関が連携し、職業的自立支援につなげることを目標とする。

ＫＰＩ項目	目標値
サポステの支援により就労等につながった割合	35%
サポステレベルが上がった方のレベル数	300レベル

【令和３年度取組状況及び令和４年度取組概要等】

＜令和３年度取組状況及び課題＞

巡回相談として、ハローワークなど特定の場所をお借りして、遠方で長崎サポステまで行くことが困難な地域に対して相談会を定期的に実施を行う。年間で累計81回、諫早、大村、島原で実施した。

さらに、氷河期世代の利用者が長崎サポステへ行く交通費補助（月2,000円を超える場合部分を補助）もあり、サポステへの誘導手段が増え、関係機関に周知を行っている。

また、個別相談のみでなくグループワークも工夫して実施している。現状として就職氷河期世代への有効な支援策は全国でもノウハウは育っていないと思われる。そこで、支援者主導でのグループワークだけでなく、クライエントが自ら発案し実行するグループワークを作っている。これはグループワークへの参加ではなく、グループワークを運営するため企画から考え、自分たちで実施し、その後振り返りを行っている。新しい手法を導入しているため、これまでグループワークに参加していなかった方々が参加している。

職場体験に関しては、経験が少ない就職氷河期の方も利用しやすいように「ドタキャンOK」な職場体験先を拡充している。また、その仕組みを県内どこでも利用できるように「長崎県職場体験ネットワーク協議会」を県内の生活困窮者自立支援事業の受託団体と手を取り合って、発足している。

広く一般向けを対象としたセミナーとして「サポステとのりこえる～氷河期世代の支援がわかる！当事者座談会～」を実施、コロナ禍でyoutubeを利用したライブ配信となったが、サポステを利用している氷河期世代の当事者の方4名と、サポステスタッフとの座談会を実施した。個人情報保護のため、ライブ配信のみで実施後は見ることはできないにもかかわらず、当日は172件の再生数となった。

＜令和４年度取組概要＞

令和4年度も引き続き昨年度の事業を実施していきたい。

巡回相談に関しては、長崎県の地勢上、長崎市内のサポステに行くことが困難な利用者もいることから、ニーズによっては回数を増やすなど、柔軟に対応していく。

グループワークは、利用者企画型のものとあわせて、自分の過去を見つめ直し、今後のキャリア選択に活かしていけるような、人生の見つめ直しをテーマにしたものを実施していくなど、バリエーションを増やしていく予定である。

セミナーについても、昨年度の成功をベースに、時勢にあわせて必要なものを計画し実施していきたい。

ＫＰＩ項目	実績累計	進捗率
サポステの支援により就労等につながった割合	27.9%	79.7%
サポステレベルが上がった方のレベル数	66レベル	22.0%

令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度実績
31.0%	31.0%	10.3%
25レベル	37レベル	4レベル

※令和４年度は７月末の長崎・佐世保若者サポートステーションの合計実績になります。